Higashisaga Hospital

ひがしさが

National Hospital Organization
HIGASHISAGA HOSPITAL

独立行政法人国立病院機構東佐賀病院　広報誌

ホームページ　http://www.higashisaga-hosp.jp

2016 夏季号
Vol. 42

【発行所】
佐賀県三養基郡みやき町
大字原古賀7324
独立行政法人 国立病院機構 東佐賀病院
【編集発行】広報委員会

《基本理念》

信頼関係を大切にし、
地域に根ざした
良質な医療を提供します。

「看護の日」記念イベントを開催して
～看護の心をみんなの心に～

看護部サービス向上委員会

「看護の日」は、近代看護を築いたナイチンゲール生誕の５月12日に制定されています。当院では５月10日に“看護の心をみんなの心に”をメインテーマに記念行事を開催しました。看護のイメージアップを図り、ポジティブな看護職像を地域住民の方々に発信する目的で「一日保健室」として各種相談コーナー、測定と看護部門紹介を行いました。

当日は33名の方に参加していただきました。会場入り口には各病棟の看護場面の紹介、看護するうえで大切にしている事など手作りのポスターを作成し、掲示

目　次

＊題字「ひがしさが」　平野　長熙　名誉院長　書

■「看護の日」記念イベントを開催して
～看護の心をみんなの心に～ …… 1
■ 新採用者挨拶 …… 2
■ 永年勤続表彰 …… 3
■ 支援活動に参加して…4.14 熊本地震… …… 4
■ 職場紹介 …… 5
■ 人事異動 …… 5
■ 医局紹介 …… 6
■ 地域医療連携室のご案内 …… 7
■ 医事統計 …… 8
■ 外来診療担当医表 …… 9
■ 病院アクセスマップ …… 10
■ 地域医療研修センターのご案内 …… 10

しました。ポスター、写真は重心病棟でのお花見散歩やボランティアを招いての行事、包括ケア病棟での遊びリテーションなどそれぞれの病棟の特徴がわかりやすく表現され、参加者には関心を持ってみていただきました。また、認定看護師や糖尿病コーディネーターなど各専門分野の活動状況を紹介するポスターも掲示しました。

測定コーナー（血圧・体脂肪率・骨密度・血糖・ＢＭＩ）で各種測定を行った後、健康相談・看護相談コーナーにて看護師による検査値の見方や参加者からの様々な相談を受け、生活習慣病予防のためのパンフレットの配布を行いました。参加者には「看護の日」記念グッズや小さなお子様連れの方には風船のプレゼントも行いました。参加者からのアンケートや会話の中で「職員の対応が優しかった」「大変ためになり参加してよかった」「日頃、測定できない骨密度を測ってもらい良かった」「みなさんの笑顔で元気になれます」といった喜びの声を聞くことができました。地域の皆さまとふれあい、直接ご意見をお聞きすることで、「看護の役割と喜び」を実感できた一日となりました。これからも地域の方々との大切な交流の場として当院の特徴・魅力を伝えていきたいと思います。

新採用者挨拶

整形外科医師　**江頭　秀一**

５月１日付けで東佐賀病院での勤務を開始しました、整形外科の江頭秀一と申します。よく『えがしら』と言われますが、『えとう』と読みます。

出身は久留米で、平成17年佐賀大学医学部を卒業して佐賀大学整形外科に入局し、唐津、嬉野、熊本での勤務を経て現在医師11年目になります。前年度までの４年間は大学院にて研究を行い、幸運なことにアメリカに留学することができました。そのため勤務開始が１か月遅れてしまい本岡先生、上通先生にご負担をお掛けしてしまいましたが、その分も含めてこれから頑張っていきたいと思います。

私の専門は下肢（股関節、膝関節）ですが、特に膝は多くの患者様が痛みを訴えられております。しかし痛いけれども手術はしたくないという方が多いのが現状です。東佐賀病院には包括ケア病棟があり、術後の患者様だけでなく運動機能が低下した患者様がリハビリを十分行える環境があります。あまり自宅や施設でリハビリができない患者様にも声をかけ、できるだけ長く自分の足で歩いてもらえるように手術だけでなくリハビリの提案もさせてもらい、患者様一人一人の考えに沿った治療を行っていきたいと思っております。

まだ不慣れな点も多く、皆様にはご迷惑をお掛けしておりますが、これから地域の皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので宜しくお願い致します。

永年勤続表彰

30年以上表彰者

- 経営企画室長　黒木　嘉文
- 看護師長　杉光　初美
- 看護師　綾部　和美
- 看護師　高木　尚子
- 看護師　平山　扶二恵
- 看護師　大坪　公子

20年以上表彰者

- 療育指導室長　植村　安浩

永年勤続表彰（30年）を受けて
～新たな想い～

経営企画室長　**黒木　嘉文**

４月のある朝、庶務係長から「今度永年勤続の表彰がありますので、出席宜しくお願いします。」との連絡をもらい、「えっ、この前20年表彰を受けたばかりなのに。」と思いましたが、よくよく確認すると、間違いなく勤続30年となっており、まさに光陰矢のごとしといった実感です。昭和61年に国立療養所南九州病院（当時）に採用となり、その後、九州がんセンター、壱岐病院、長崎医療センター、九州医療センター、福岡東医療センター、都城医療センター、指宿医療センター、東佐賀病院の９施設で勤務させて頂いております。この間、多くの先輩や同僚、後輩に恵まれ、苦楽を共にできたこと、そして家族の支えで今の自分があるのだなと感謝しております。

今年度から九州管内事務部職員の人材育成委員を拝命しておりますが、私が仕事をする上で大切にしている格言は山本五十六の「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。」です。定年までまだ暫くありますが、今後、国立病院機構を担っていく若手職員を育成・教育すること、幹部職員として勤務する病院の運営に全身全霊を捧げていく所存です。

永年勤続表彰を受けて

手術室　看護師長　**杉光　初美**

この度は、永年勤続表彰をいただき、本当にありがとうございました。受賞のお話をいただいたとき、もう30年かという気持ちと同時に、国立病院機構にもあと何年かしか勤務できないなーという淋しい気持ちが入り交じった思いでした。もともと長崎の出身で、自宅から徒歩10分の長崎川棚医療センターに就職し、青春時代を過ごしました。師長に昇進してからは、佐賀県に縁があって佐賀病院、嬉野医療センター、現在、東佐賀病院とで勤務させていただいています。最初、佐賀に来たときびっくりしたことは、佐賀の人にはあたり前の東西南北、道を尋ねると「あの四つ角を東に曲がって・・・」東がどっちかわからなかったのですが、みんな言うんです。山のある方が北ですよと。佐賀に長く住むといつの間にか、私も東西南北で道案内していました。今まで上司や多くの職員に恵まれ、ここまで大過なく勤めさせていただきました。現在、手術室に勤務していますが、私が就職して初めて配属されたところも、手術室でした。今後も初心を忘れず、日々努力して参りたいと思います。

支援活動に参加して…4.14 熊本地震…

給与係
小村　哲史

去る４月、当院の専門職と共に大牟田病院を拠点として行われた熊本地震における支援物資の運搬援助作業に参加しました。

天候は生憎の土砂降りと強風でしたが、機構本部、並びに大牟田病院のスタッフの皆様の手際良い段取りのお陰で風雨にさらされることなく作業を進めることが出来ました。

大型のトラックで運び込まれる食料品を中心とした物資を、倉庫や専用に作られたスペースに仕分け搬入していくという作業でしたが、そこには既に運び込まれた大量の物資が・・・次々と運び込まれてくる物資の量を目の当たりにして、今回の震災における被害がいかに甚大なものであったかを痛感させられました。私自身は働き始めてまだ１年も経たない若輩者ではありますが、若輩は若輩なりに今回の援助作業に参加することによって、このような予測できない災害が発生した時においてこそ、国立病院機構という組織はその真価を発揮しなければならない。医療体制を維持し、災害に遭われた一人でも多くの方のお役にたつことが必要で、医療人としてそのことを念頭に置いて日々の業務に勤しまなければならないのだと気持ちを新たにした次第です。

大変辛い記憶となる出来事ではありますが、大変貴重な体験をさせて頂く事となる時間でもありました。

最後になりましたが、この度の地震で被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げるとともに、一刻も早い震災からの復興をお祈り申しあげます。

３病棟の紹介

当病棟は、外科・整形外科・消化器内科・循環器内科・糖尿病･内分泌内科・小児科の混合病棟です。

外科では、ヘルニア修復術や腹腔鏡下での胆嚢摘出術などが行われています。また、摂食障害による胃瘻造設術・他施設からの胃瘻交換患者を受け入れています。整形外科では、転倒による骨折の骨接合術や人工骨頭挿入術などを行っています。多くの診療科を持つことで、数か月の小児から高齢者までの患者の急性期・慢性期・リハビリ期・終末期まで幅広く対応しています。

急性期では、手術前・手術後の看護、化学療法、輸血療法などの医療・看護を提供し、終末期においては患者様とそのご家族がその人らしい最期を迎えられるよう環境を整え、認知症高齢者の方へはできる限り入院生活に順応し安全に生活できるよう思いに寄り添い安心感のある関わりを行っています。

受け持ち看護師を中心とし、入院時から医師・看護師等のカンファレンス、地域連携室などの他職種と協力し、 安楽な入院生活や今後の療養が出来るようチーム医療に取り組んでいます。小児患児への細やかな観察、ご家族への気配りなど、スピードだけではない看護の提供を心がけています。

当病棟には糖尿病コーディネート看護師が在籍し、スタッフへの指導・糖尿病教育入院患者には地域の医療機関との連携を図りながら退院後も治療が継続できるように活動を行っています。

医師・看護師の連携はとても良く、若い20代のスタッフと先輩看護師が連携を取り、“何かをやろう！”という時のチームワークは抜群の病棟です。あたたかさのある丁寧な医療・看護が提供できるよう、日々取り組んでいます。

人事異動　personnel changes

◆新採用者

日　付	氏　名	職　名	職場名
H28. 5. 1	江　頭　秀　一	整形外科医師	医　局
H28. 6. 3	奥　村　雅　博	調理助手（非常勤）	栄養管理室

◆退職者

日　付	氏　名	職　名	職場名
H28. 5. 8	柿　本　規　子	看護師	看護部
H28. 6.30	山　科　美佐子	看護師	13病棟
H28. 8. 8	野　中　千　尋	栄養士（期間職員）	栄養管理室

医局紹介

☆ 赤枠の先生は、新しく採用となられた先生です。

職名	氏名	専門診療科	専門診療分野及び研究分野 認定医関係
院長	貞松（さだまつ）　篤（あつし）	内科 循環器内科	循環器内科、肺循環呼吸生理 医学博士 日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医
副院長	北島（きたじま）　吉彦（よしひこ）	外科	消化器外科、がん化学療法、癌分子生物学 医学博士 日本外科学会外科認定医・専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 臨床腫瘍学会暫定指導医 日本がん治療認定医機構認定医 佐賀大学医学部臨床教授
診療部長	山本（やまもと）　修一（しゅういち）	小児科	小児科、小児アレルギー科 医学博士 小児科専門医 日本アレルギー学会専門医・指導医
呼吸器内科医長	小林（こばやし）　弘美（ひろみ）	内科 呼吸器内科	呼吸器一般 医学博士 日本内科学会認定医・総合内科専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本医師会認定産業医 日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医 日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医 日本がん治療認定医 日本プライマリケア連合学会認定医 佐賀大学医学部臨床准教授
呼吸器内科医長	犬山（いぬやま）　正仁（まさひと）	内科 呼吸器内科	喘息、COPD 日本アレルギー学会アレルギー専門医 日本内科学会総合内科専門医
呼吸器内科医師	千布（ちふ）　節（さだむ）	内科 呼吸器内科	呼吸器内科 日本内科学会認定医 日本医師会認定産業医
消化器内科医長	大井（おおい）　順二（じゅんじ）	内科 消化器内科	消化器内科、消化器内視鏡治療 医学博士 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
消化器内科医師	吉村（よしむら）　昌也（まさや）	内科 消化器内科	消化器内科 医学博士 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本糖尿病協会指導医 日本温泉気候物理医学会温泉治療医 日本医師会認定スポーツ医 日本医師会認定産業医
糖尿病・内分泌内科医長	髙木（たかぎ）　佑介（ゆうすけ）	内科 糖尿病内科	糖尿病・内分泌内科 糖尿病一般（インスリンポンプ含む） 内分泌一般 日本内科学会認定医 日本糖尿病学会専門医 日本医師会認定産業医
放射線科医長	牛見（うしみ）　陽（あきら）	放射線科	放射線診断一般、IVR 日本医学放射線学会専門医 放射線診断専門医

職名	氏名	専門診療科	専門診療分野及び研究分野 認定医関係
小児科医長	荒牧（あらまき）　修一（しゅういち）	小児科	小児一般、夜尿症 医学博士 先天性代謝異常 日本小児科学会小児科専門医
小児科医長	横田（よこた）　吾郎（ごろう）	小児科	小児一般 日本小児科学会小児科専門医
小児科医師	沖（おき）　眞一郎（しんいちろう）	小児科	小児感染症 医学博士 日本小児科学会小児科専門医 日本感染症学会感染症専門医
小児科医師	今吉美代子（いまよしみよこ）	小児科	小児一般 医学博士 日本小児科学会小児科専門医 日本血液学会血液専門医
小児科医師	上野（うえの）　知香（ちか）	小児科	小児一般 日本小児科学会小児科専門医
呼吸器外科医長	辻（つじ）　博治（ひろはる）	呼吸器外科	呼吸器外科、一般外科 医学博士 日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本胸部外科学会九州地方会評議員 厚生労働省認定臨床研修指導医
外科医師	志田（しだ）　雅明（まさあき）	外科	一般外科 医学博士 日本外科学会外科専門医
整形外科部長	本岡（もとおか）　勉（つとむ）	整形外科	整形外科一般、足の外科 医学博士 日本整形外科学会整形外科専門医 日本整形外科学会スポーツ医
整形外科医師	上通由紀子（うえみちゆきこ）	整形外科	整形外科一般 日本整形外科学会整形外科専門医
整形外科医師	江頭（えとう）　秀一（しゅういち）	整形外科	整形外科一般 日本整形外科学会整形外科専門医 医学博士

地域医療連携室のご案内

《ご利用方法について》

1．ご紹介いただく場合について

「診療情報提供書（当院様式以外のものでも結構です）」に必要事項をご記入いただき、ファックスにてご連絡下さい。診療情報提供書をすぐに送信いただけない場合は、直接、新患担当医師又は各診療担当医まで電話にてご連絡下さい。その場合の診療情報提供書は、できるだけ患者様が受診される日時までに、地域医療連携室までFAXいただきますようお願い致します。

2．緊急時のご紹介について

緊急を要するご紹介は、直接各診療科医師へご連絡下さい。

患者様の症状などを医師同士でご確認していただくことにより、受入体制、各種検査室の手配など迅速に対応できます。また、救急搬送によるご依頼の場合には、救急当番医師が対応致します。

3．患者様へのご説明について

受診当日に「予約案内書」「診療情報提供書」「健康保険証」をご持参のうえ、外来受付窓口へご提出いただきますよう説明をお願い致します。

4．ご報告について

診療結果につきましては、地域医療連携室または担当医から、ファックス若しくは郵便にて速やかにご報告申し上げます。なお、報告がないようでしたら地域医療連携室までご一報下さい。

5．入院のご依頼について

入院をご希望の場合でも、いったん当院の医師の診察後に決定させていただきますので、ご理解の程お願い申し上げます。なお、緊急の場合は直接各診療科へお電話いただき、担当医にご相談いただきますようお願い致します。

6．その他

お問い合わせ、ご不明な点やご意見ご要望等がございましたら、いつでもご遠慮なく「地域医療連携室」へお知らせ下さいますように、お願い申し上げます。

独立行政法人国立病院機構東佐賀病院地域医療連携室

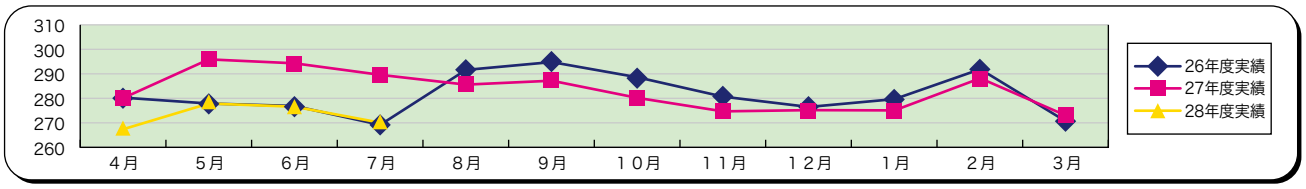
ご連絡は下記のファックス又は電話をご利用下さい。

代　表：TEL 0942 (94) 2048 内線309
直　通：TEL／FAX 0942 (94) 3748（FAXは24時間受付）
E-mail：renkei-56@hosp.go.jp
＜平日／午前８時30分～午後５時15分＞

※平日午後５時以降及び土・日・祝祭日受付分は、翌日など出来るだけ早急に返事を送らせていただきます。

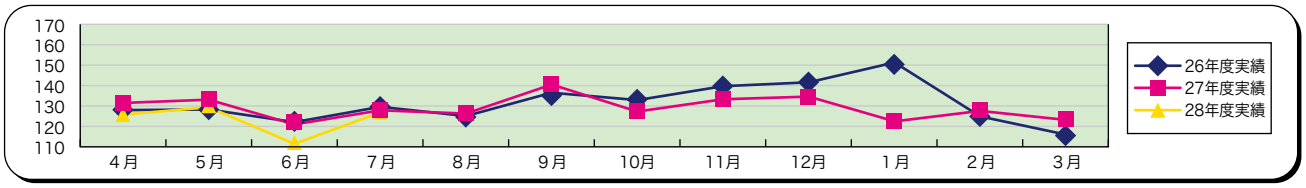
医事統計

１日平均入院患者数



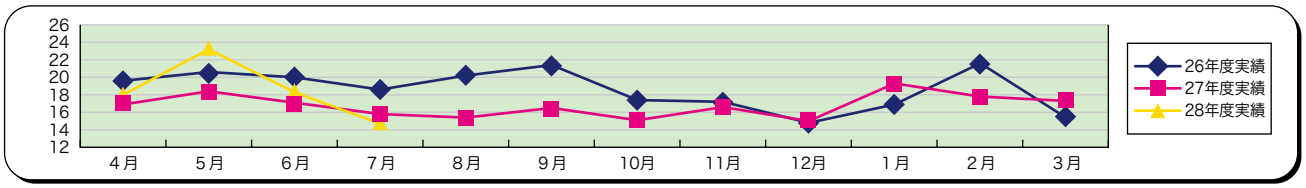
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26年度実績	280.3	277.9	276.9	269.2	291.6	294.8	288.6	280.7	276.5	279.7	291.9	270.6	281.5
27年度実績	280.1	295.9	294.3	289.6	285.6	287.2	280.2	274.7	275.2	275.1	288.2	273.0	283.2
28年度実績	267.4	277.9	276.6	270.1									

１日平均外来患者数



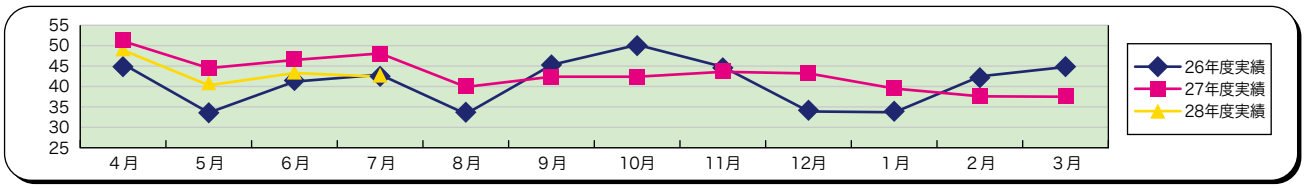
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26年度実績	128.0	128.3	122.1	129.6	125.1	136.5	132.9	139.7	141.6	151.3	124.9	116.0	136.6
27年度実績	131.5	133.1	121.0	127.9	126.3	140.5	127.3	133.3	134.6	122.5	127.6	123.2	128.8
28年度実績	125.8	129.4	111.5	126.9									

平均在院日数 【一般病床（重心・亜急性を除く）】



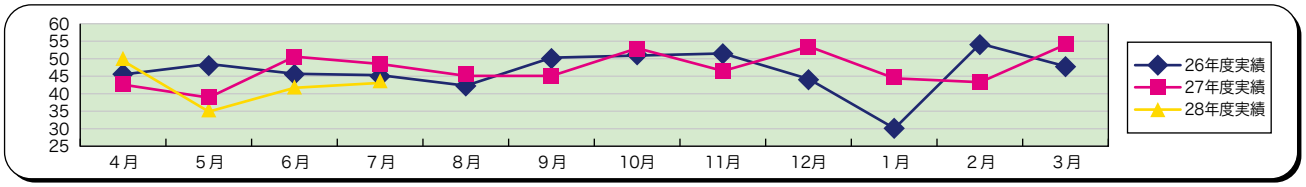
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26年度実績	19.6	20.6	20.0	18.6	20.2	21.4	17.4	17.2	14.8	16.9	21.6	15.4	18.6
27年度実績	16.9	18.4	17.1	15.8	15.4	16.5	15.1	16.6	15.0	19.3	17.8	17.3	16.7
28年度実績	18.0	23.2	18.3	14.7									

紹介率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26年度実績	45.5	33.6	41.2	42.9	33.3	45.3	50.2	44.8	33.9	33.7	42.5	44.8	40.7
27年度実績	51.1	44.5	46.5	48.1	39.9	42.4	42.4	43.6	43.2	39.5	37.6	37.5	42.9
28年度実績	48.9	40.3	43.3	42.4									

逆紹介率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
26年度実績	45.5	48.5	45.7	45.3	42.3	50.3	50.9	51.5	44.2	30.1	54.3	47.8	45.8
27年度実績	42.6	38.9	50.6	48.5	45.1	45.1	53.0	46.5	53.5	44.4	43.3	54.1	47.2
28年度実績	49.4	34.9	41.7	43.1									

外来診療担当医表

独立行政法人国立病院機構
東佐賀病院
FAX 0942-94-3137
ホームページ http://www.higashisaga-hosp.jp

（受付時間）月曜日 ～ 金曜日（祝日を除く）
新患・再来／8：30～11：30
※急患はこの限りではありません

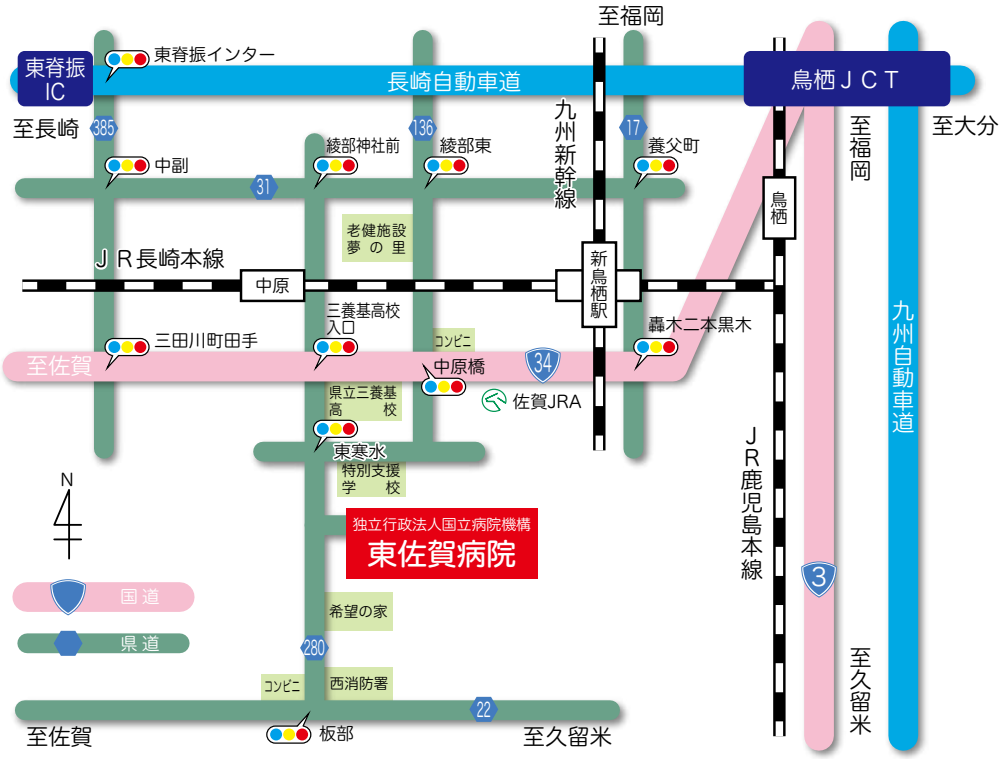
（小児科は午後も診療を行います。14：00～16：30）

《平成28年５月１日》

診療科目				月	火	水	木	金
内科	新患			小林 弘美（呼吸器） 吉村 昌也（消化器）	千布 節（呼吸器） 髙木 佑介（糖尿病）	大井 順二（消化器） 小林 弘美（呼吸器）	犬山 正仁（呼吸器） 大井 順二（消化器）	吉村 昌也（消化器）
内科	新患（隔週）							犬山 正仁（呼吸器） 千布 節（呼吸器）
内科	再来	呼吸器		千布 節	小林 弘美	小林 弘美 犬山 正仁		千布 節
内科	再来	消化器		吉村 昌也	大井 順二			吉村 昌也
内科	再来	循環器		貞松 篤	貞松 篤	貞松 篤	貞松 篤	
内科	再来	糖尿病・内分泌		髙木 佑介		井上 瑛	髙木 佑介	重本 里美（9:30～） 髙木 佑介
内科	専門	甲状腺						
内科	専門	肝臓専門外来		村山賢一郎				
外科	消化器			北島 吉彦 志田 雅明	北島 吉彦	志田 雅明	北島 吉彦	志田 雅明
外科	呼吸器				辻 博治	辻 博治	辻 博治	辻 博治
外科	乳腺外科（予約制）							北島 吉彦 志田 雅明 （午後1：30～予約制）
小児科	一般		午前	山本 修一	荒牧 修一	上野 知香	山本/上野	横田 吾郎
小児科	一般		午後	横田/荒牧	荒牧 修一	予防接種（予約制）	沖 眞一郎	今吉美代子
小児科	専門	アレルギー	午後	山本 修一（予約制）				
整形外科	一般			本岡 勉 江頭 秀一（新患担当） 上通由紀子	本岡 勉 上通由紀子	本岡 勉 江頭 秀一	本岡 勉 江頭 秀一 上通由紀子（新患担当）	江頭 秀一 上通由紀子
整形外科	専門	骨粗しょう症						
整形外科	専門	関節						
整形外科	専門	形成			当面の間休診いたします。			
放射線科				牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽
消化器内視鏡				大井 順二	吉村 昌也	吉村 昌也	吉村/志田	大井 順二
呼吸器内視鏡						辻 博治		
心エコー								
眼科						午後	午後	

- 栄養相談は、月曜日～金曜日まで毎日行っています。
- 金曜日の乳腺外来は予約制ですので、事前に外科外来にご予約下さい。
- 小児アレルギー外来は、小児の喘息、アレルギー性鼻炎やアトピーなどの診察、相談を行っています。
  小児アレルギー外来、予防接種は予約制ですので事前に小児科外来へご予約下さい。
- 眼科外来は、当院にて治療中の患者様に限ります。

病院アクセスマップ



1. JR長崎本線普通列車「中原駅」下車。
   南へ徒歩15分(1.4km)
   - 鳥栖駅～中原駅間　約９分
   - 佐賀駅～中原駅間　約17分

2. 西鉄バス〔西鉄久留米〕～〔鳥栖駅〕間（あやべ経由41番）の「東佐賀病院前」にて下車。
   - 西鉄久留米より　約30分
   - JR久留米より　約20分
   - JR鳥栖より　約30分

3. 九州自動車道及び長崎自動車道
   - 鳥栖インターより（国道34号線経由）　約30分
   - 東脊振インターより（県道31号線経由）約20分

地域医療研修センターのご案内

本センターは医療従事者の方であれば利用者の職種は問いません。
病院の職員をはじめ地域住民の皆様、及び医療機関の皆様、講演会・研修会・勉強会等医療・健康に関するコミュニケーションの場としてご利用下さい。

●お申し込み・お問い合わせ先●

東佐賀病院
管理課庶務係
☎0942 (94) 2048
（内線 333 又は 219）

編集後記

第42号では、看護の日の催しを巻頭に、５月１日付で採用された整形外科医師の江頭秀一先生に挨拶をのべてもらいました。その他に永年勤続表彰、熊本地震における物品運搬などの記事が主な内容です。
今後も、新しいメンバーとともにさらなる地域医療への貢献を期待したいと思います。

（編集委員長　辻　博治）